

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会

臨時総会および「健康と長寿を祝う会」を開催

9月14日(日曜日)に、西洗・港南プラザ自治会館1階ホールにて、NPO総ぐるみ福祉の会の臨時総会、および「健康と長寿を祝う会」が開催されました。会場は、大橋綾子さんご寄贈の豪華な盛り花が飾られ、華やかな雰囲気にも包まれていました。

◆臨時総会の開催

浮田泰治さんの司会によって臨時総会は始まり、冒頭、宮崎浩子理事長は、「5月の総会に続いて、今年は2回も皆様にお会いできてよかった」と挨拶されました。

議長に賛田

勇二さんを選出して、出席58人、委任状提出47人、計105人にて総会の定足数を満たすことが確認されました。今回の議案は、5月の通常総会において承認された定



款変更の届を役所に提出したところ、平成24年に改正されたNPO法にのっとり、当NPO定款の細かい言葉使いを改めるようにという指導によるものです。事前に新(変更後)と旧(変更前)の定款部分の対比をした表が配布されていて、これに基づいて宮崎理事長より説明があり、全員一致で定款改正は承認され、臨時総会は短時間で終了。

◆健康と長寿を祝う会の

お楽しみプログラム

昨年に続いて第2回目の「健康と長寿を祝う会」は、臨時総会に引き続き、藤井香代さんの司会で午前10時から始まりました。お楽しみプログラムは、昨年同様いぶき会のお世話になり、高山富男会長に企画をお願いしました。

まず、いぶき会カラオケ部の方々が、持ち歌を聴かせてくださいました。

- ① 「鉾をおさめて」 松永高明さん
- ② 「キヨシのズンドコ節」 山地広尚さん
- ③ 「荒城の月」 小林一彦さん
- ④ 「名月赤城山」 桑田ミツエさん
- ⑤ 「みちのく一人旅」 中尾長衛さん
- ⑥ 「斉太郎節」 多家 正さん

入会や活動についてのお問い合わせ先 || NPO総ぐるみ福祉の会事務所
所在地: 港南区日限山4-45-10、Tel 846-8850、Fax 370-7272

～介護の現場から～ 送迎介助をしています

歩行困難なご高齢の方、障害のある方の通院・銀行・役所・選挙などや、日常必要な物のお買い物などの移送や、介護をさせていただきます。

* 運賃と介護料等の詳しい事はご相談・ご説明します。
* 会員になっていただく必要があります。

Tel 045-846-8850
(NPO総ぐるみ福祉の会)
お電話お待ちしております

⑦ 「二輪草」 鎌倉妙子さん
⑧ 「北国の春」 有川貢司さん
⑨ 「千曲川」 井上一男さん
⑩ 「男の一生」 三田 洋さん

続いて、高山富男さんが立石昌子さんのピアノ伴奏によって「七つの子」「赤とんぼ」「竹田の子守唄」「花ーすべての人の心に花をー」の4曲と、アンコールに「荒城の月」をチェロ演奏されました。

次は、立石さんのピアノ伴奏で、会場の出席者全員で「海」「浜千鳥」「赤いくつ」「七つの子」「長崎の鐘」「ふるさと」を合唱。ここで昼食時間となり、三田さんの音頭で乾杯の後、古市庵のお弁当とフルーツをいただき、最後にまた全員で「上を向いて歩こう」「幸せなら手をたたこう」を大合唱しました。布施信義さんの閉会の辞により「健康と長寿を祝う会」は楽しい時間を終了しました。

◆出席された方々から寄せられた感想
◇4丁目の二つの会が連動して開催

那珂 通武

心地よい晴天に恵まれ、日頃介護を必要とする会員の方も参加されて、素晴らしい会となった。今年は、介護を担当されるヘルパーの方、NPOの事務の方等多数の会員が参加できて、大勢のお楽しみ会となった。

「健康と長寿を祝う会」の余興企画に、いぶき会会長がカラオケ部の10人を連れて参加され、ご自身のチェロ演奏を聴かせてくださった。日限山4丁目の二つの会が連動して開催できたのは、この上なく素晴らしい。高山さんのチェロ演奏は、良く知られた曲目で、素晴らしい音色が心地よかった。

また、カラオケ部の方々の選曲とお人柄を合わせながら拝聴すると、興味深かった。最後の参加者全員による合唱は、この会にふさわしく、「幸せなら手をたたこう」では、手をたたき、肩をたたき、足を鳴らして、元氣よく歌い、散会できた。

楽しい敬老の日の行事であった。地縁のつながりは素晴らしい。総ぐるみ福祉の会の発展と、会員の幸福をお祈りします。

◇素晴らしい会に感謝

増澤 マツ

早めに出席したら、早速感想文を頼まれてしまいました。総会の議題は、役所による定款の語句や言い回しの訂正指摘と聞き、時が経てば、意味は同じでも、表現は変化するのが当然と思いました。

「健康と長寿を祝う会」をNPOで行うのは、素晴らしいと思えました。現在の年寄りも、いくつになっても、できることは何でも

会員の宮本鈴子さんが、秋の句を寄せてくださいました。

▽秋立つやあわれ垣根にすだく虫

やらなければならぬ運命を背負わされているのですから、このような会は、大いにやるべきです。

会を企画開催してくださった方々に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

◇素晴らしい地域の会に乾杯！

杉村美智子

カラオケ部の方々の懐かしい持ち歌を聴いた後、チェロとピアノの演奏で奏でられる童謡他を、目を閉じて聴き入る人、口ずさむ人と、とても素敵なミニコンサートでした。チェロ演奏後に、奏者の高山さんからは、「マイナス思考をしない」「病気をしない」「前向きに元気で、これからも生活していきましょう」という言葉が、出席者に贈られました。

次に、日限山いぶき会の歌詞集が配られ、ピアノの伴奏により、出席者全員で数曲歌いました。が、「長崎の鐘」では、涙ぐんでおられる方もいらっしゃいました。

お昼のお弁当とフルーツをいただき、その後、年齢当てクイズがあり、和やかな雰囲気では進みました。最後に「幸せなら手をたたこう」の曲を隣同士手をつないで歌い、素晴らしい地域の会に乾杯！という気持ちの、楽しいひと時を過ごすことができました。

◇昨年同様に開催できて良かった

大橋 綾子

昨年同様、今年もNPO総ぐるみ福祉の会が「健康と長寿を祝う会」を開催できて、本当に良かったと思います。いぶき会の高山会長のご協力をいただき、カラオケ部の方々の美声で、楽しいひと時を過ごしました。

例えば10年以上前のNPO立ち上げの頃は、若い宮崎さんが理事長となり、自宅を事

務所に提供して様々な人が出入りしていました。中には夜遅くまで家族問題や病気の相談にきて、夕食を一緒に食べた人もいたそうです。事務所が現在の場所に独立したときは、さぞ安堵されたことでしょう。

公私混同のこのような生活が続いても、理事長は優しく、親切で、何事も一生懸命でした。日限山荘が、食事会の場だけではなく、大勢の人が集う「たまり場」になったのも、ボランティアさん達の協力と共に、理事長の人柄によるものと思っています。

今後も微力ながら、NPO総ぐるみ福祉の会の繁栄を願い、協力したいと思っています。

◇「健康と長寿を祝う会」に参加して

松永 高明

昨年に続き、2回目の「健康と長寿を祝う会」に参加して、ご準備くださった方々に感謝の気持ちを述べてさせていただきます。

わが国の高齢化は、人類の新しい頁の試金石ともいえるでしょう。老齢期間が延びて、若い世代に負担や迷惑をかけるならば、寿ぎたいとは言えないでしょう。健康であってこそ長寿を祝福できます。授かった命を大切に思い、生あるうちは輝かせたいと思います。

人は、体力・気力の衰えに伴い、他人との接触を恐れ、孤独になりがちです。孤独の先には、哀れな終焉が待ち受けているでしょう。最近就寝前に読んだ阪本宇一郎編著『明日に生きる訓言、365話』の中に、杜甫の「醉時歌」が載っています。その詩の意味は、生きていくうちに人生を楽しまなければということで、とても気に入っています。

今日のこの祝う会が、来年もその先々も続いて、発展していくことを祈って止みません。

▽赤とんぼぐるぐる回り一直線